



(写真) Shutterstock “ドラゴンフルーツ (ピタヤ) 新たな輸出有望品になるか”

2025年8月18日(月曜)

政治

「[ボリビア大統領選 10月19日に決選投票](#)
～前評判を覆し中道左派系の候補が躍進～」

経済

「[ドラゴンフルーツ ベネズエラの輸出有望品](#)
～国内に71種のドラゴンフルーツ～」

「[CITGO 競売 8月末に落札者決定か](#)」

「[国営銀行BDV 12カ月で融資額3倍に](#)」

「[25年7月 マラカイボ市インフレ率16.6%増](#)」

社会

「[SuperCable 有料放送、ネットサービス終了](#)」

2025年8月19日(火曜)

政治

「[ドローン購入・販売等 30日間禁止](#)」

「[米国 ベネズエラの麻薬密売を全力で阻止](#)」

「[Plaza Venezuela 爆破未遂事件 追加速捕者](#)」

経済

「[Amber Energy PDVSA 20債権団と合意](#)

～75%のPDVSA 20債権者が条件に合意～」

「[Monómeros 具体的な売買手続きについて協議](#)」

「[10月15～16日 貿易首脳会議を開催](#)」

社会

「[大学生75% 起業より会社就職を希望](#)」

2025年8月18日（月曜）

政治

「ボリビア大統領選 10月19日に決選投票
～前評判を覆し中道左派系の候補が躍進～」

8月17日 ボリビアで大統領選が実施された。

結果は、Jaime Paz Zamora 元大統領（1989～93年）の息子である Rodrigo Paz Pereira 候補（中道左派、上院議員）が得票率31%で1位を獲得。

得票率27%で2位の Jorge Quiroga 候補（右派、元大統領）と決選投票を行うことになった。

決選投票は10月19日に開催される予定となっている。

事前の世論調査では、富豪 Samuel Doria Medina 候補と Jorge Quiroga 候補の支持が拮抗しており、両名が決選投票の最有力候補とされていたが、蓋を開けると Rodrigo Paz Pereira 候補が大躍進を果たしたことになる。

これまでボリビアは過去20年間、エボ・モラレス元大統領が発足した「MAS」による政権運営が続いていたが、今回の選挙により MAS の政権運営が終了することが決まった。

ボリビアは、ドル不足、燃料不足、物価高騰（年率約25%）など経済危機が深刻になっている。

加えて、MAS を発足したエボ・モラレス元大統領と、ルイス・アルセ現大統領は敵対関係にあり、政党内の分裂も票離れにつながった。

Rodrigo Paz Pereira 議員は、Tarija 市での演説にて「ボリビアは安定を必要としている」「経済を国のためではなく、人々のためにするために変革が必要だ」と主張。

Jorge Quiroga 元大統領は

「ボリビアは20年に渡り、国家による虐待を受けてきた」「今後、平和的かつ民主的に変化することで世界の模範になることができる」とコメントしている。

なお、エボ・モラレス元大統領は2006年～19年までボリビアの大統領を務めており、今回の大統領選への出馬意志を示していた。

しかし、裁判所はモラレス元大統領の出馬を禁止。また、大統領任期中に未成年者の人身取引に関与した疑いが出ており、逮捕状が出されている。本件について、モラレス元大統領自身はこの訴えを否定しており、政治的な迫害を主張している。

今回の結果について、政治評論家は、「Rodrigo Paz Pereira 議員が MAS 支持勢力の受け皿となり、今回の躍進を果たした」と分析している。



(写真) @Rodrigo_PazP

“大統領選で1位通過した Rodrigo Paz Pereira 候補”

経済

「ドラゴンフルーツ ベネズエラの輸出有望品
～国内に71種類のドラゴンフルーツ～」

ベネズエラではトロピカルフルーツが多く獲れるが、日本ではドラゴンフルーツの名前で知られる「ピタヤ (pitahaya)」もその1つである。

ピタヤは、ベネズエラでは比較的なじみのある果物。ララ州で最も多く栽培されているが、それ以外でもヤラクイ州、ファルコン州、コヘーデス州、ボリバル州、グアリコ州、ポルトウゲサ州などで栽培されている。

また、ベネズエラのピタヤは、「Golden De Israel」「Hídrica Costarricense」「Royal Red」「Rubí」「Imperial」「American Beauty」「Camaleón」「Connie Meyer」「María Rosa」「Pinflash」「Purple Hays」「Terulla del Valle japonesa」など種類が豊富で、71種類が栽培されているという。

マドゥロ政権は、原油など伝統輸出産品以外の輸出を促進しており、ピタヤも輸出有望産品と認識されている。



(写真) Bitacoraeconomica

ララ州の「Agrícola León C.A.」では、毎月1200キロのピタヤを生産しており、同社社長によると、70%は国内向け、30%はクラサオに向けて輸出されているという。

他、ボリバル州の「Pitahayas El Renacer」では、0.5ヘクタール（約3000本）のピタヤを栽培しており、毎月3000キロが生産されているという。

なお、「Agrícola León C.A.」の Miguel Teixeira 氏は、ピタヤ栽培については「2023年から趣味で始めた」とコメント。

しかし、「利益率が非常に高く、事業を拡大した」「他の地域にも輸出をしたいが、現時点では生産能力が不足している」とコメントしている。

「CITGO 競売佳境に 8月末に落札者決定か」

「ロイター通信」によると、CITGO 競売（正確には CITGO の株式を100%保有している PDV Holdings の競売）に関して、米国デラウェア州裁判所の Leonard Stark 判事は、応札者による新たな提案を受け入れることを許可したという。

新たな提案の受け入れ期間は今週のみで、現在の予定では8月末には同競売の運営者 (Roberto Pincuz 氏) から最終的な落札者の推薦を受ける予定だという。

「国営銀行 BDV 12カ月で融資額3倍に」

経済系メディア「Bancaynegocios」によると、ベネズエラの国営銀行「Banco de Venezuela (BDV)」による2025年7月時点の融資額は約820.5億ボリバル。

ドルに換算すると約6.6億ドルで、ベネズエラ金融機関による融資総額の26.1%を占めており、全金融機関の中で最も融資額が大きいという。

また、25年7月時点の融資額は、ポリバル建てで前年同期（24年7月）比234.6%増。12カ月の間に3倍以上に増えていることになる。

他、2025年7月のBDVの金融収入は321.9億ポリバル。ドルに換算すると約3.7億ドル。ポリバル建てで前年同期比644.9%増、ドル建てで同212%増になる。

総収入のうちの54.8%は貸付ポートフォリオからの収入だという。

「25年7月 マラカイボ市インフレ率16.6%増」

マラカイボ商工会議所は、2025年7月のスリア州マラカイボ市の物価上昇率について、先月比16.62%増だったと発表した。

マラカイボ商工会議所によると、25年7月時点の同市の基礎食糧費は月額67,646ポリバル。

先月の58,003ポリバルから9,643ポリバル（16.62%）増えたとしている。

なお、7月の基礎食糧費をドルに換算すると月額543ドル。先月の539ドルから4ドル（0.8%）増えたことになる。

社 会

「SuperCable 有料放送、ネットサービス終了」

8月18日 ベネズエラで有料放送およびインターネット・プロバイダーサービスを提供している「SuperCable」がベネズエラでのサービスを停止した。

SuperCable は、同社顧客に対して、サービス停止通知の連絡を送っている（下通知文）。

25年3月 ベネズエラ国内の放送通信サービスを管轄する「国家電気通信委員会（CONATEL）」は、SuperCable の事業ライセンス停止を決定した（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1191](#)」）。

理由については明らかにされていないが、CONATEL は、「SuperCable の運営に重大なイレギュラーが確認されたため」と説明している。

Estimado/a [REDACTED]

Reciba un cordial saludo de parte de todo el equipo de **SuperCable**.

Antes que nada, queremos agradecerle sinceramente por su confianza y lealtad a lo largo de estos años. Usted ha sido parte fundamental de nuestra historia, y gracias a su preferencia, hemos trabajado con dedicación para ofrecerle el mejor servicio del mercado.

Hoy, con gran pesar, debemos comunicarle que **SuperCable**, en cumplimiento con la orden de CONATEL, cesará sus operaciones. Esto significa que, a partir del 18/08/2025, el servicio de televisión por suscripción será desconectado.

Sabemos que esta situación puede afectar su rutina diaria ya que **Supercable** ha sido parte de su hogar y de sus momentos importantes. Esta preocupación nos llevó a revisar cuidadosamente las opciones disponibles en su zona y hemos constatado que usted tiene a su disposición operadores que ofrecen un servicio de gran calidad de forma tal que pueda continuar disfrutando de conectividad si así usted lo desea.

Nos despedimos con el corazón lleno de gratitud. Gracias por permitirnos entrar en su hogar, por cada momento compartido, y por ser un suscriptor ejemplar.

Con afecto y respeto,

El equipo de **SuperCable**

この決定を受けて、「SuperCable」は、異議申し立てを起こしていたが、結局この異議は通用しなかったようだ。

「SuperCable」は、ベネズエラ国内では比較的用户の多いインターネットプロバイダーで、同社の事業停止の影響は小さくないだろう。

2025年8月19日（火曜）

政治

「ドローン購入・販売等 30日間禁止」

国土交通省は、ベネズエラ国内での遠隔操作式の無人飛行ドローンの製造、輸入、販売、配布、指導、教育、登録、操作を禁止する政令を公布した。同政令は8月19日時点で既に有効になっている。

なお、同政令の有効期間は30日間だが、延長は可能としている。

今回の政令は、米国政府によるマドゥロ政権への圧力に対抗するためのものだという。

昨今、トランプ政権は、マドゥロ政権高官グループ（太陽カルテル）を麻薬取引の元締めとしてテロ組織に認定。

マドゥロ大統領らベネズエラ政府高官の懸賞金を増額し、カリブ海での麻薬取り締まりオペレーションを強化している（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1256](#)」）。

これらの圧力に対抗することが狙いだという。

「米国 ベネズエラの麻薬密売を全力で阻止」

8月19日 米国ホワイトハウスの Karoline Leavitt 報道官は、記者会見を実施。

記者からベネズエラ問題について質問を受けると、「ニコラス・マドゥロを頂点とする太陽カルテルは、米国を麻薬漬けにしようとしている」

「ベネズエラに関して、トランプ大統領の方針は非常に明確である」「トランプ大統領は、ベネズエラからの麻薬の流れを止めるためにあらゆる力を行使する用意がある」とコメントした。

また、マドゥロ政権について「合法ではなく、麻薬テロ組織であり、マドゥロは指名手配中の逃亡犯である」との見解を改めて示した。

「Plaza Venezuela 爆破未遂事件 追加速捕者」

「[ベネズエラ・トゥデイ No.1253](#)」にて、8月3日にカラカス地下鉄の駅「Plaza Venezuela」に爆発物を仕掛けた15人が逮捕されたとの記事を紹介した。

本件について、ディオスタード・カベジヨ内務司法相は新たに2名の関係者を拘束したと発表した（下写真）。

EXPLOSIVOS PLAZA VENEZUELA



ALIANNIS ARAUJO LOZADA
C.I. V-22.447.402
CAPTURADA

CASO EXPLOSIVOS PLAZA VENE



CARLOS LUIS ARRIETA MÁRQUEZ
C.I. V-25.807.537
CAPTURADO

(写真) Con El Mazo Dando

男性は Carlos Luis Arrieta Márquez 氏（通称、El Flaco）、女性は Aliannis Araujo Lozada 氏（通称、La Negra）。両名ともスクレ州で警察に逮捕されたという。

カベジヨ内務司法相によると、男性（Carlos Luis Arrieta Márquez 氏）は、爆発物を作った人物。

女性（Araujo Lozada 氏）は、コロンビアを拠点とする犯罪組織との連絡窓口を務めていた人物だという。

なお、カベジヨ内務司法相は、今回の事件には野党のリーダーであるマリア・コリナ・マチャド氏やマドウロ政権の自宅軟禁から逃れ、米国へ亡命したイバン・シモノビス氏が関与していると訴えている。

経 済

「Amber Energy PDVSA 20 債権団と合意

～75%のPDVSA 20 債権者が条件に合意～

ロイター通信は、「Elliott Investment Management」傘下の「Amber Energy」が、PDVSA 20 債の債権者と合意したと報じた。

「Amber Energy」の弁護士を務める Susheel Kirpalani 氏は「支払いオファーは、全ての PDVSA 20 債権者を対象としている」「既に75%の債権者がこの合意に加わっている」と説明した。

PDVSA 20 債は、ベネズエラ政府あるいは PDVSA が発効した他の債券とは異なり、CITGO の株式 50.1% が担保に設定されている（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1257](#)」）。

PDVSA 20 債の債権者は、CITGO 競売の影響を強く受けるため、PDVSA 20 債権者との合意なく、CITGO 競売を実施することは困難と認識されている。

その意味で、PDVSA 20 債権団と合意に至った「Amber Energy」は、CITGO 競売で他の応札者をリードしていると言えそうだ。

「Monómeros 具体的な売買手続きについて協議」

8月19日 デルシー・ロドリゲス副大統領は、コロンビアの Edwin Palma 鉱物エネルギー相と「Monómeros」の売買取引の具体的な手続きについて協議を行ったことを明らかにした。

Monómeros は、ベネズエラ石油化学公社「Pequiven」がコロンビアに持つ子会社。農業用肥料の製造・販売を行っている。

Monómeros は、コロンビアの農業用肥料の約28%を供給しており、同国の農産業にとって非常に重要な企業。

昨今、トランプ政権は Monómeros の制裁ライセンスを停止するとの圧力をかけており、コロンビア政府が Monómeros の買い取りに意欲を示している。

なお、両名は Monómeros の売買取引に加えて、両国のガス、石油、電力分野におけるエネルギー協力についても協議を行ったという。

「10月15～16日 貿易首脳会議を開催」

ベネズエラの輸出振興について議論するネットワーキングイベント「ベネズエラ貿易首脳会議(SUVECOEX)」が10月15日～16日にかけて、カラカスの「Hotel Eurobuilding」で開催される。

今回は3回目、特に経済情勢、AI、空運、石油産業の制裁ライセンス、輸出振興策について議論するという。

同イベントの登壇予定者は、経済情勢については、経済調査会社「Ecoanalítica」の Jesús Palacios シニアリサーチャー。

AI に関しては、ビジネスマーケティング専門家の Isa Bermúdez 氏。

制裁ライセンスについては、経済調査会社「Síntesis Financiera」の Tamara Herrera 社長。

空運分野については、「ベネズエラ貨物代理店・通関業者組合（ASOCAV）」の Gretsy Marín 代表。

輸出振興策については、経済学者の Simón Hernández 氏が登壇する予定だという。

社 会

「大学生75% 起業より会社就職を希望」

「アンドレスベジョ・カトリック大学（UCAB）」の Gabriel Wald 教授は、大学生を対象に卒業後の進路希望に関する調査を実施。72～75%の大学生が卒業後に、（内資・外資を問わず）会社への就職を希望しているとの結果を公表した。

Wald 教授は、「以前よりも会社への就職を希望する大学生が増えている」と指摘。「企業側は新たな人材を雇用しやすい環境にある」との見解を示した。

この結果について

「若者は、起業や自営業を始めるのは困難であることを理解している」「将来的に起業したいと考えているとしても、最初の段階では、安定した雇用先に就職する方が望ましいという認識を持っている」と指摘した。

以上